

平成 29 年度 第 8 回 おおさか環境ネットワーク会議レポート

作成：事務局 堤 康郎

日時：平成 29 年 12 月 21 日(木) 18:30～20:30

場所：あべのルシアス 11 階 会議室 B

第 8 回おおさか環境ネットワーク会議は、新規オブザーバー参加 4 団体を迎え、平成 30 年 2 月 12 日（月祝）にヤマダ電機 LABI1 なんばイベントスペースにて開催予定の「活動発表・交流会(仮)」の内容について、参加団体間で積極的な意見交換がなされました。

基本はチーム単位で連携



冒頭、当活動発表・交流会開催に至るこれまでの経緯を振り返り共通認識のもと、具体的な内容の検討に入りました。前回の流れを受け、ファシリテータに一任されていた団体間での連携をベースとした 4 つのチーム分け(下記参照)について発表がなされ、以降、新規オブザーバー参加団体も交え以下の手順に沿ってチーム単位でのワークに移りました。

- ①メンバーが普段しているワークショップの共有
- ②今回新たに連携を前提にチームとして取り組んでみたいこと
- ③チームテーマの設定
- ④実施内容の検討
- ⑤次回打ち合わせ日程調整

チーム①

(特活)イー・ピーング
なにわエコ会議
(特活)大阪環境カウンセラー協会
(※当日不参加)
なにわエコクラブ
(特活)リアルにブルーアースおおさか
(※当日不参加)

チーム②

(特活)木育フォーラム
ハッピーアースディ
谷町空庭
(一社)関西まちづくり協議会
(※当日参加/不参加回答待ち)
(公財)公害地域再生センター
(あおぞら財団)
大阪府シェアリングネイチャー協会
(※当日不参加)

チーム③

(特活)体験学習ネットワーク
(特活)一杯のコーヒーから地球が見える
(特活)大阪府民環境会議
(特活)グリーンコンシューマー大阪ネットワーク
(特活)日本ベジタリアン協会

チーム④

ケイゾクエナジー
エコネット近畿
(公社)大阪自然環境保全協会
大阪府立大手前高等学校生物部
(特活)環境情報ステーション pico

次第に方向性が明確に

約 90 分間のワークを経て、参加者全員での共有化に向けチーム毎に発表がなされ、各チームの方向性(下記参照)がある程度明確になったところでタイムアップとなり、次回年明け 1 月 16 日(火)の会議での「活動発表・交流会(仮)」における具体的な内容の決定に向け、今後チーム単位で連絡をとりながら、具体的に内容を詰めていくことになりました。



世代の壁を超えた積極的な意見交換

また会議の席で、今回の「活動発表・交流会(仮)」の一般市民にとってキャッチーなネーミングの発案がファシリテーターに一任され、次回決定することになりました。

チーム①出展内容

手回し発電によるプラレールでエネルギー問題、牛乳パックを使ったエコ工作(エコ笛、車掌の帽子)でゴミ減量問題に言及することで、楽しく環境問題に対する意識の高揚を図る。シーンとしては“牛乳パックの車掌帽子を被りエコ笛をピ〜と吹いて出発進行”というイメージ。

チーム②出展内容

イベント全体をコーディネートしていく一方で、地産地消、フェアトレード、オーガニックを切り口に、他チームとの連携を横断的に模索する方向で検討中。併せてチーム内の各団体の特徴ある個別の出し物も検討中(ex.食品。雑貨)。

チーム③出展内容

“環境に負荷をかけない食”のテーマのもと、今後互いに連絡を取り合って内容を詰めていくことで、出展内容を具体的に決定。

チーム④出展内容

生物多様性の観点から、“大阪の海を豊かに、森も豊かに”をテーマに、“チリメンモンスター”の老舗伝道者「大阪自然環境保全協会」から次代のホープ「大手前高等学校生物部」に、そのDNAを引き継ぐというスタンスで、「大阪自然環境保全協会」と「大手前高等学校生物部」の連携による“チリメンモンスター”の展開を軸に、「環境情報ステーション pico」がチリメンコレクションの台紙に環境に優しいケナフ紙を提供することなどで連携する。

最後に、環境局から環境活動推進施設(愛称「なにわECOスクエア」)の本年度版利用規約改定についての案内があり、恒例の参加団体のみなさまからの積極的な行事案内・PRを経て、第8回おおさか環境ネットワーク会議は終了となりました。

なお次回の第9回おおさか環境ネットワーク会議は、年明けの**1月16日(火)**、**あべのルシアスビル 11階会議室A**で**18:30~20:30**に開催されることになっております。

以上